



# まちがど トピックス



## ■寺内町燈路とうろ～ほのかな光の中に浮かび上がる古い町並み～

8月25日、富田林寺内町およびその周辺で、じないまち四季物語2018「夏」第15回富田林寺内町燈路とうろが開催されました。日暮れとともに、約1000基の行灯あんどんに火がともされると、江戸時代の風情が残る町並みが、ほのかな光の中に浮かび上がりました。当日は、浴衣姿の家族連れやカップルらが写真を撮ったり、散策をしたりするなど歴史情緒漂う富田林の晩夏の風物詩を満喫していました。



## ■初の大舞台で観客を魅了

8月22日、第11回日本高校ダンス部選手権夏の公式全国大会（スモールクラス）に出場された河南高等学校ダンス部の皆さんが市役所を訪れました。同大会では、惜しくも入賞には届かなかったものの、全国大会の大舞台で華麗なダンスを披露し、1000人を超える観客を魅了しました。3年生は「今後はこれまで培ってきたものを後輩に伝えて、全国制覇の夢を託したい」と語ってくれました。

## ■えいえんに聞こえるラジオ

8月19日、トピックトピック（きらめき創造館）で、発明家と作る「えいえんラジオ」が開催されました。「えいえんラジオ」とは電池もコンセントも使わずにラジオ放送を聞くことができるゲルマニウムラジオのこと。

参加した子どもたちは、自分たちで作ったラジオのイヤホンを手、「音が聞こえる」「ニュース番組の声かな？」と嬉しそうに耳を澄ませていました。



## 写真とともに見る8月～9月のできごと



## ■ ベスレヘムから笑顔の帰国

8月21日、姉妹都市のアメリカ合衆国ベスレヘム市への交換学生として派遣された木谷菜々さんが帰国報告のため市役所を訪れました。

ベスレヘム市では、さまざまなことを経験し、たくさんの新しい発見があったとのこと。多田市長が「その経験を忘れずに、富田林とベスレヘムの友好の架け橋として今後も活躍してほしい」と声を掛けると、木谷さんは「はい、頑張ります」と笑顔で答えていました。

## ■ 将来の夢はお医者さん

8月18日、済生会富田林病院で、職業体験「とんとんキッズ探検隊」が開催されました。

白衣に着替えた小さなお医者さんたちは、手術室で最新の機材を手に腹腔鏡手術のトレーニング体験をしたり、お産センターで赤ちゃんのお世話体験をしたりするなど、さまざまな仕事で病院を支えていることを学んでいました。

参加者の中には「将来はお医者さんになる」と頼もしく答えてくれた子どももいました。



## ■ 興味津々ピアノの秘密

9月1日、すばるホールで、ピアノ解体セミナーが開催されました。

参加した親子連れなどは、調律師の解説を聞きながら、普段見ることのできない、ピアノの内部に興味津々でのぞき込んでいました。

また、チューニングハンマーという工具を使って、ピアノの音の高さを実際に合わせる調律体験をした子どもたちは「ピアノの音を自分で変えられて面白かった」と話していました。

## ■ 新たな歴史を刻む

9月14日、大阪代表として出場した第63回全国高等学校軟式野球選手権大会で準優勝した河南高等学校軟式野球部の皆さんが、Topic (きらめき創造館) を訪問し、多田市長らに準優勝の報告をしました。ユニフォームに身を包んだ選手は皆晴れ晴れとした表情で、宇地井康太主将は「支えていただいた皆さんのおかげで準優勝できた。秋の国体でも一戦一戦しっかり戦いたい」と次の目標を見据えていました。

